

## 既存試料・情報を用いる研究についての情報公開

本学では、医学系研究に協力して下さる方々（以下研究対象者）の利益と安全を守り、安心して研究に参加していただくように心がけております。こちらに記載されている研究については、研究・診療等により収集・保存された既存試料・情報を用いる研究で、直接研究対象者からインフォームド・コンセントを取得することが困難であるため、情報公開をさせていただいております。

こちらの文書は研究対象者の皆様に、情報公開をするとともに、可能な限り研究参加を拒否または同意撤回の機会を保障する為のものになります。

なお、研究参加を拒否または同意撤回されても一切の不利益はないことを明記させていただきます。

受付番号	(倫理・先進・ゲノム) 第2110号	
研究課題	変形性膝関節症での軟骨変性の機序解明に向けた網羅的解析	
	所属、職位、氏名、研究における役割	
研究責任者	熊本大学大学院生命科学研究部整形外科学講座、医員、久永 哲 本研究における役割: 研究計画書作成、生化学的・病理学的解析、臨床データ解析、研究統括	
研究分担者	熊本大学大学院生命科学研究部整形外科学講座、大学院生、河上 純輝 本研究における役割: 生化学的・病理学的解析、臨床データ解析、研究統括	
研究分担者	熊本大学病院整形外科、助教、岡元 信和 本研究における役割: 研究指導、生化学的・病理学的解析、臨床データ解析	
研究分担者	熊本大学病院整形外科、特任助教、舩田 哲朗 本研究における役割: 研究指導、生化学的・病理学的解析、臨床データ解析	
研究分担者	熊本大学病院整形外科、医員、伊藤 仁 本研究における役割: 研究指導、生化学的・病理学的解析、臨床データ解析	
研究分担者	熊本大学大学院生命科学研究部整形外科学講座、教授、宮本健史 本研究における役割: 研究指導、研究統括、生化学的・病理学的解析、臨床データ解析	
III.研究の目的及び意義	変形性関節症(OA)は高齢者の生活の質を低下させ、健康寿命の延伸を妨げる代表的な運動器疾患である。急速に高齢化が進む我が国では軟骨破壊の進行を抑制する治療法の開発が急務となっており、そのためには病態の分子メカニズムを解明し、治療標的分子を同定することが不可欠である。我々は軟骨変性の過程で小胞体ストレスが生じており、軟骨細胞のアポトーシスや軟骨基質分泌の障害を介して軟骨変性の要因となっていることを先行研究で明らかにした(Takada K et al. Int J Exp Pathol 2011)(Hisanaga S et al. Scientific Reports 2018)。しかしながら、未だ軟骨変性の病態に関しては不明な点が	

多く、実際の軟骨変性を来たす疾患の患者より採取した軟骨・半月板・靭帯を解析することで、その機序の解明および治療法を開発することは患者の健康寿命の延伸に対して必須である。

#### 研究の方法

手術・処置により摘出された靭帯・軟骨・滑膜組織・半月板・関節液・骨組織・血液などを使用します。本来廃棄されるものを対象としているため、これらを使用することにより、新たな侵襲や合併症が生じることはありません。

本研究に関与する研究者は、「ヘルシンキ宣言」及び「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守し、研究を行います。

#### 研究期間

大学院生命科学研究部長（病院長）承認の日 から 西暦 2024 年 3 月 31 日まで

#### 試料・情報の取得期間

研究に用いる試料は、靭帯・軟骨・滑膜組織・半月板・関節液・骨組織・血液などであり、手術（膝関節置換術、半月板切除、前十字靭帯切除術、人工骨頭挿入術等）・処置（関節穿刺・採血等）により摘出した試料を用います。既存検体・情報は、大学院生命科学研究部長（病院長）承認の日 から 西暦 2023 年 6 月 30 日までの間に解析します。

#### 研究に利用する試料・情報

手術により採取した検体、情報（診療録データ：年齢、性別、臨床徴候、採血検査、画像検査、生理検査）を用いて解析を行います。本研究で採取した試料および研究データを第三者等に提供することはありません。

#### 個人情報の取扱い

個人情報は研究のために特定した目的、項目に限り適正に取得、利用します。

取得した情報を用いて解析した研究の結果は、論文や学会発表として公表されますが、公表される情報には個人を特定し得る情報は含まれませんのでご安心ください。

取得した情報は万全な安全管理対策を講じ、適切に保護し慎重に取り扱います。

個人が特定できる情報が熊本大学から外部に出ることはありません。

本研究で取得し管理している情報に関して、開示、訂正、削除、あるいは第三者への開示、提供の停止を希望される方は、担当医師までご相談ください。

一般的な質問や苦情がある方は、下記の対応窓口までご連絡ください

#### 研究成果に関する情報の開示・報告・閲覧の方法

本研究で得られた研究成果は、国内外の学術誌や学会での発表に加え、熊本大学整形外科ホームページ上で概要を公開する予定です。ご要望があれば、患者様とご家族が読まれる場合に限り、研究の独創性等の確保と他の被検査の個人情報の保護等に支障がない範囲内において、この研究の計画書をご覧いただけます。下記担当者までご連絡ください。

#### 利益相反について

この研究は科学研究費補助金を資金源に行います。研究責任者、研究分担者の利益相反については、利益相反自己申告書を当大学倫理委員会へ提出し、利益相反委員会の承認を得ています。この研究に携わ

る全研究者は費用を公正に使った研究を行い、この研究の公正さに影響を及ぼすような利害関係はありません。研究実施期間中に新たに利益相反状態が発生した場合は、ただちに修正した申告書を当大学倫理委員会へ提出し、判断を仰ぎます。利益相反を適切に管理し、公正かつ健全な研究を遂行し、研究対象者の利益を優先致します。

本研究参加へのお断りの申し出について

研究への協力の同意は自由意志によるものであり、同意しなくても不利益な扱いを受けるようなことはありません。一度この研究に参加することを同意した場合であっても、いつでも撤回することができます。同意を撤回された場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

本研究に関する問い合わせ

本研究に関する問い合わせ先：

所属 熊本大学大学院生命科学研究部

応答責任者名 久永 哲

電話 096-373-5226

E-mail hisanaga.satoshi@kuh.kumamoto-u.ac.jp